

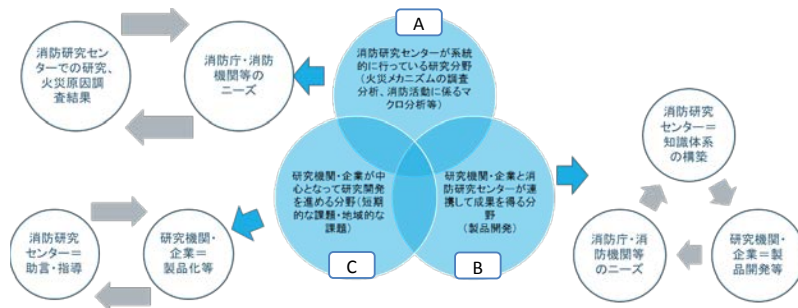
消防防災科学技術高度化戦略プラン2018(案)

総務省消防庁総務課
(消防技術政策担当)

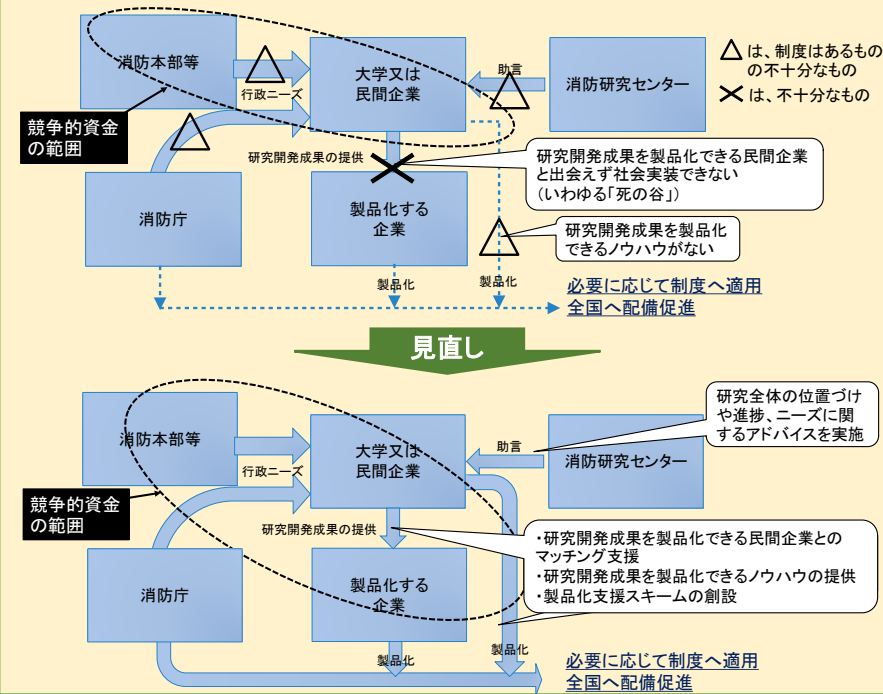
参考資料1

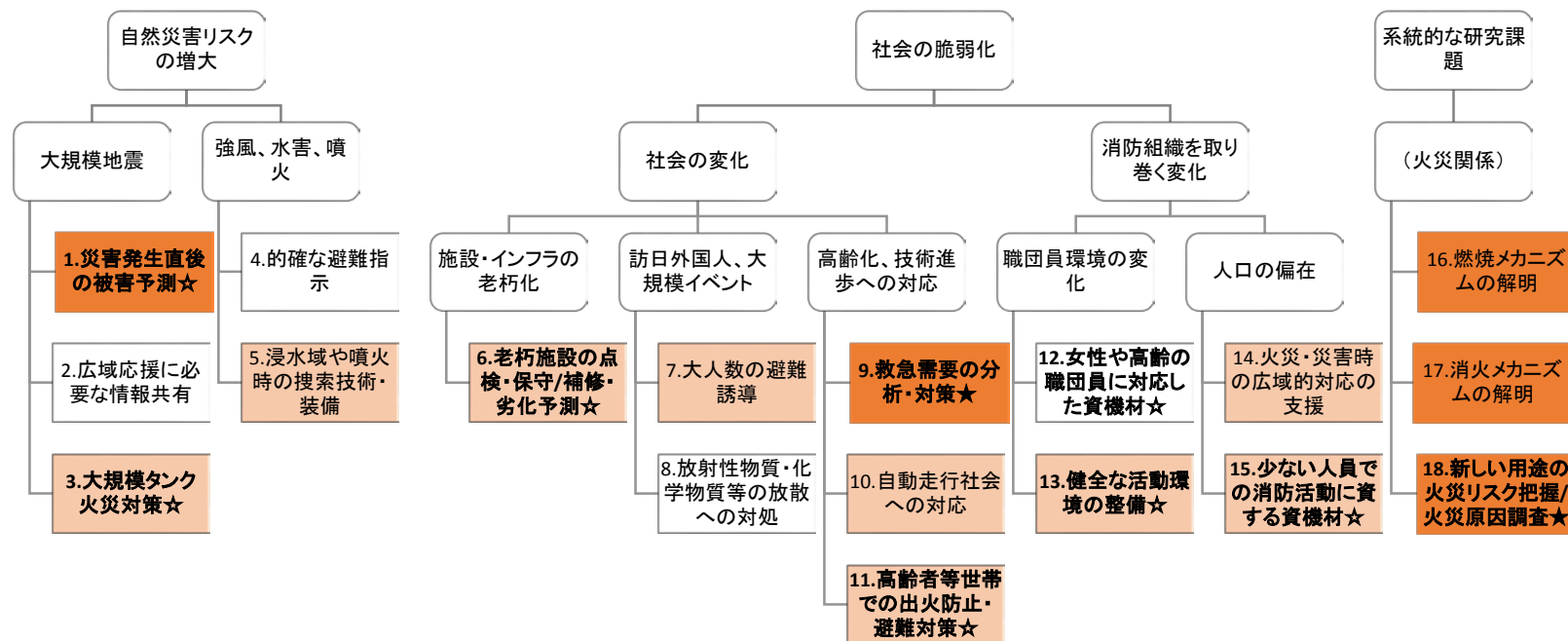
戦略プランとは	消防研究センター及び競争的資金*における概ね5年間の研究開発のマスタープラン的な位置づけ [沿革]H13.11作成。H19.2、H24.10に改訂 (* 競争的資金＝消防防災行政に係る課題解決や重要施策推進のための研究開発委託事業。委託先は研究機関、企業等)
検討体制	有識者会議(座長＝関澤東京理科大学教授)により検討を実施。(第1回12/13、第2回2/28、第3回3/23)
戦略プラン2018のテーマ	[自然災害リスクの増大への対応]南海トラフ地震や首都直下地震などの地震災害への備え、集中豪雨・台風等の自然災害による被害の軽減。 [社会の脆弱化への対応]インフラ等の老朽化や高齢化・人口減少などの社会変化、消防を取り巻く環境の変化への対応。 [研究開発環境の整備]研究開発成果の社会実装の強化に向けた消防研究センターの役割及び競争的資金制度のあり方について整理。
特に注力すべき研究開発課題(☆＝喫緊に対応する必要性のある課題)※別紙参照	
頻発する災害への対応(1) 【消防研究センター】	適切な応急対応ができるよう、地震等発生直後に、コンビナート施設や建物等に係る被害の地域的拡がりを把握できるシステムを構築し、災害対応機関において実装する。
糸魚川市大規模火災及び埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた消防活動資機材の開発(15) 【消防研究センター、競争的資金】	石油コンビナート等における火災に対応する消防ロボット、強風下での消火活動に有効な汎用ノズル、遠隔操作ノズル、火災時のドローンによる迅速な情報把握システムを開発し、普及する。
救急需要の増大に対応するための研究開発(9) 【消防研究センター、競争的資金】	傷病状況が軽度の時に救急車以外の搬送手段を選択できるよう、緊急度と併せた搬送手段選定システムを開発し、普及する。 救急車の現場到着時間の短縮のため、救急搬送に係るデータを関連データと併せて分析して救急搬送需要を予測して車両待機場所選定を支援するシステムを開発し、普及する。
住宅火災の予防及び火災リスクの高い建物に対する予防に資する研究開発(11,18) 【消防研究センター、競争的資金】	火災傾向の分析、火災原因調査を通じ、新しく出現した用途の火災リスクについて、施策に反映する。 高齢者世帯における布団等の着火を防ぐことができる素材・機器を開発し、普及する。
消防活動に係る技能継承及びよりよい活動環境の確保に必要な研究開発(12,13) 【消防研究センター、競争的資金】	軽量・コンパクトな救急資機材や、活動支援のためのパワーアシスト機器を開発し、市場化する。 50歳以上で構成される消防隊の活動モデルケースを研究し、検証する。 熱中症対策が講じられ、隊員位置情報の把握も可能な軽量の防火装備を開発し、実証検証を行う。

消防研究センターの役割



(C) 研究機関・企業が中心となって研究開発を進める分野の見直し





濃色＝消防研究センターが中心となって研究を実施するもの。(A)

淡色＝消防研究センターと研究機関・企業が共同で研究開発を実施し、製品開発等につなげるもの。(B)

白色＝研究機関・企業に対して研究開発の実施を特に促すもの。(C)